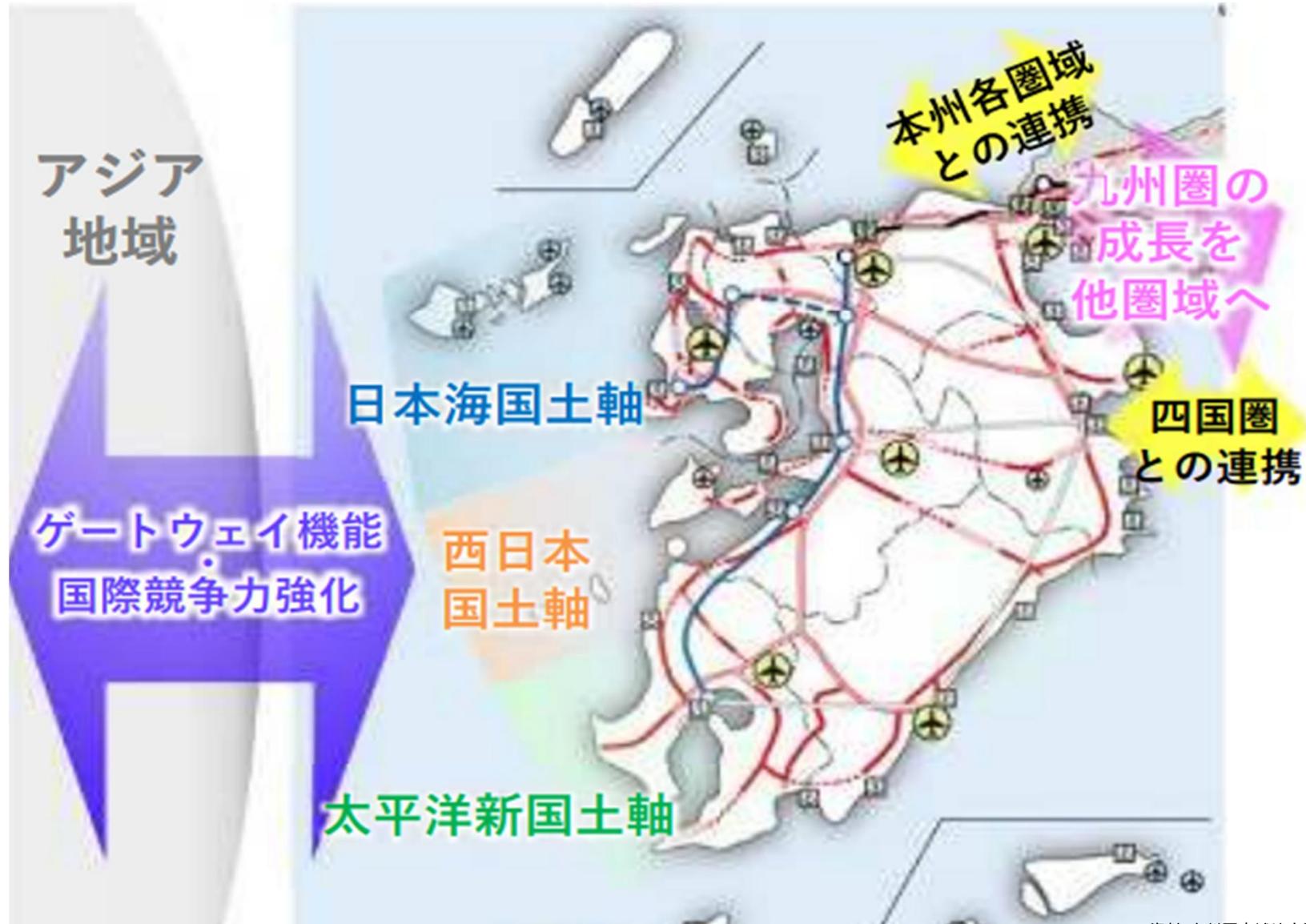


参考となる事例・データ集

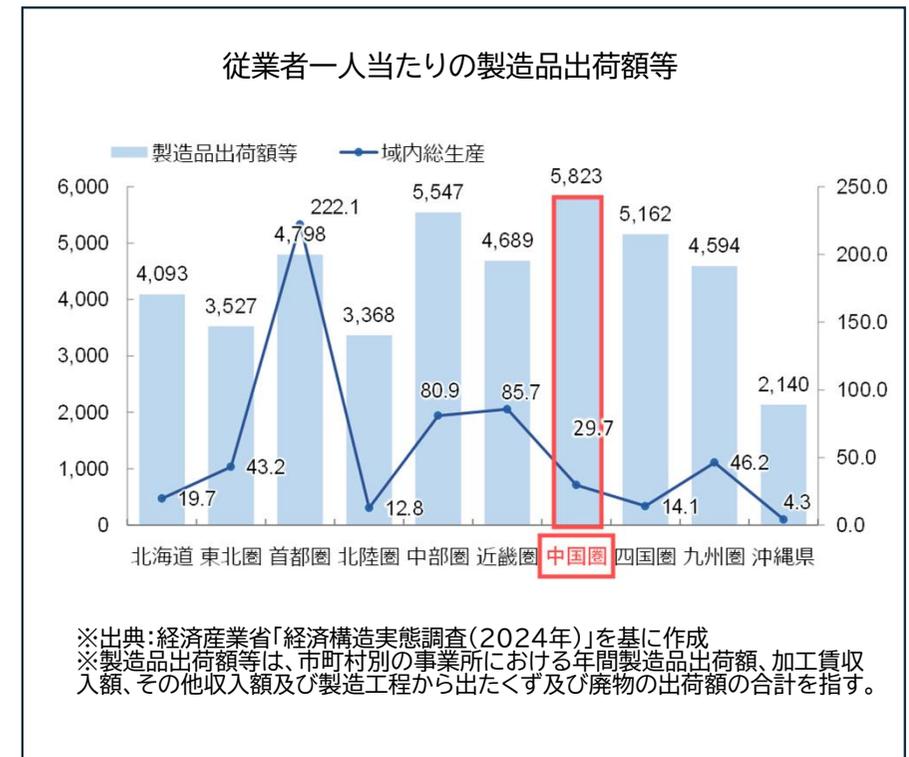
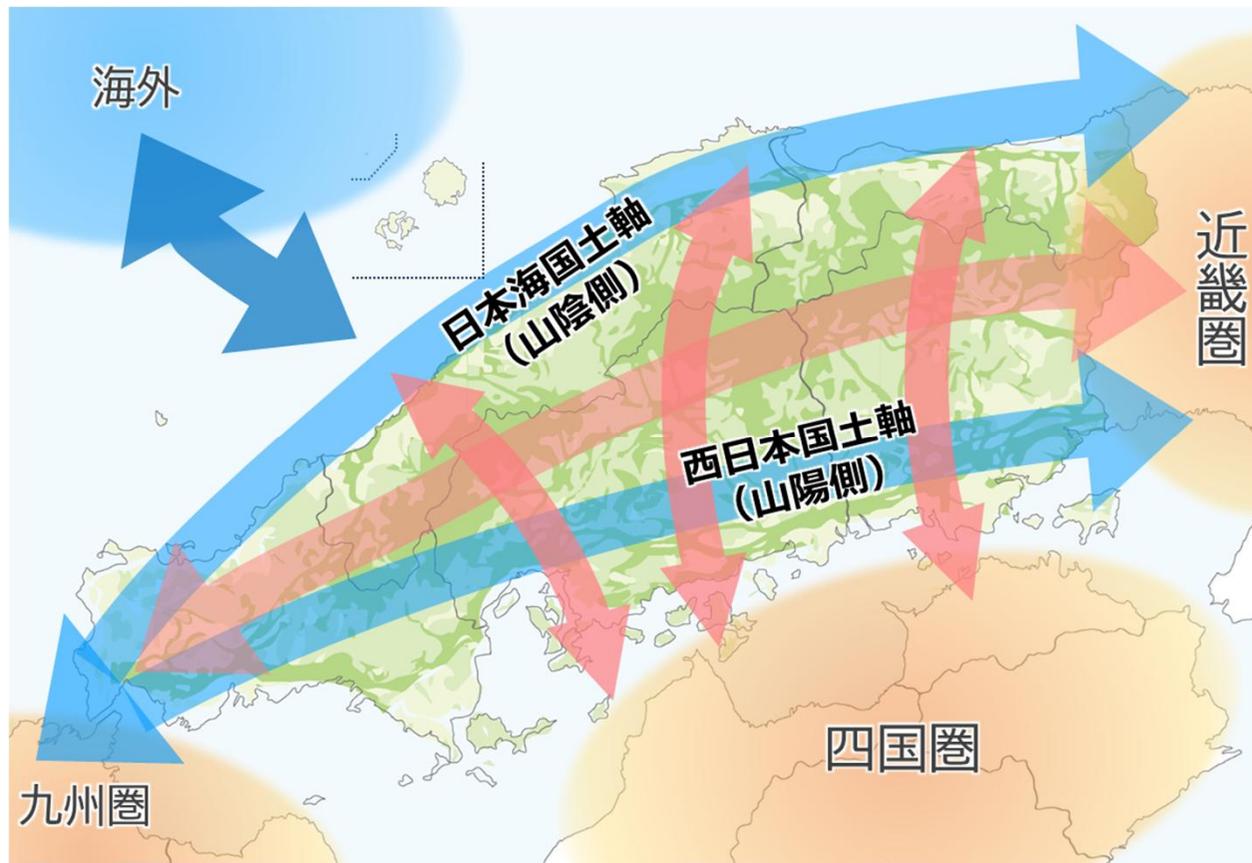
本州・九州間の連携に係る広域計画(九州圏広域地方計画)

- アジアに近い地理的優位性を持つ九州地方は、国際線の定期便や空港・港湾などの交通基盤を活かし、我が国の国際物流・交流を支えるなど、日本とアジアを結ぶゲートウェイ機能を担っている。
- 九州圏広域地方計画 中間とりまとめ(案)においては、多様な人々が集い賑わう国際交流拠点を形成することで、圏域内の経済を成長させ、その効果を国内他圏域へ拡大させることを目標としている。



本州・九州間の連携に係る広域計画(中国圏広域地方計画)

- 中国地方は、国際物流の玄関口である九州圏と近畿圏の間に位置し、四国圏とも隣接しており、西日本の要衝として人やモノの流動を支える重要な役割を担いながら、自動車等のものづくり産業を中心としたグローバル産業が、輸出と投資により海外と結びつきを深め、基幹産業として圏域の経済を牽引してきた。
- 中国圏広域地方計画 中間とりまとめ(案)においては、中国圏が強みとするものづくり産業を中心に生産性向上を図り、海外との直接交流を拡大し、グローバルな世界市場とローカルな地方産業をつなぐ「グローバル成長」を目指すこととしている。



(参考)九州地方の特徴(北海道、四国地方との比較)

○各地方と本州間の移動において、九州地方は、北海道、四国地方と比較して人流・物流ともに陸路の割合が高い。

■本州と各地域を繋ぐ交通ネットワーク(※人流は航空を除く)

九州-本州

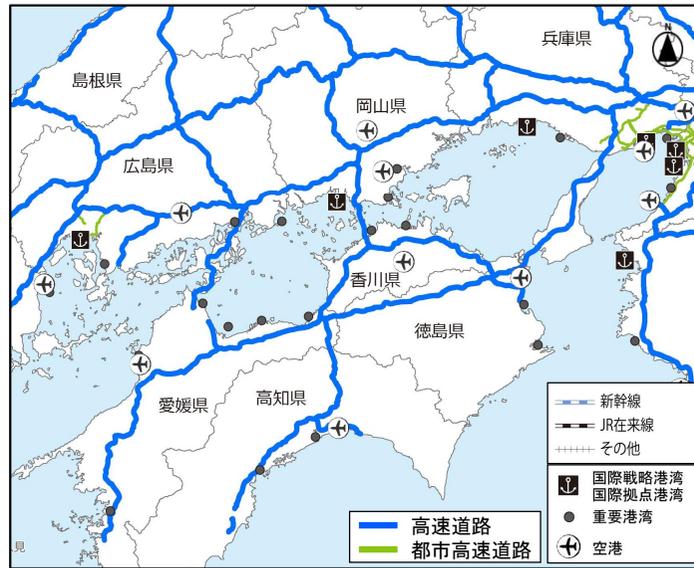
- ・移動手段は道路、鉄道、航路の3つ
- ・物流: 道路利用者は5割、航路が約5割
- ・人流: 道路利用者は6割、鉄道が約4割

四国-本州

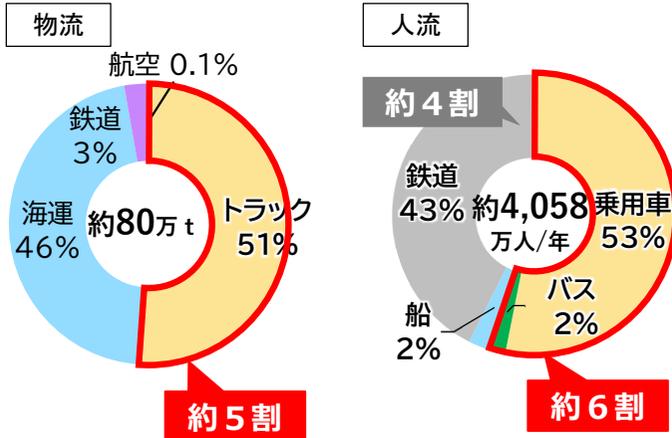
- ・移動手段は道路、鉄道、航路の3つ
- ・物流: 道路利用者は4割、航路が約6割
- ・人流: 道路利用者は5割、鉄道が約4割

北海道-本州

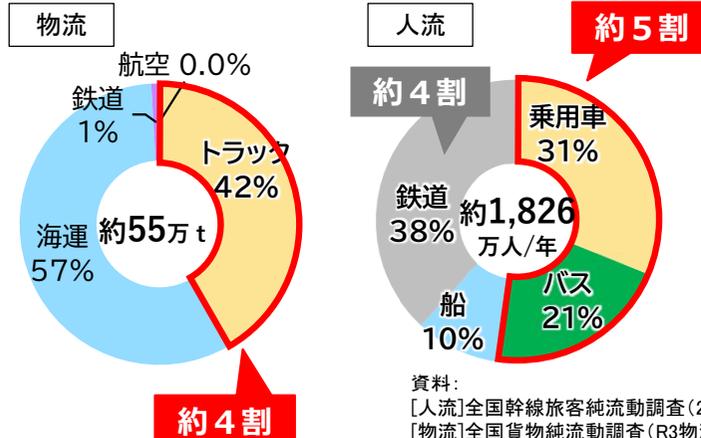
- ・移動手段は鉄道、航路の2つ ※自動車移動する場合はフェリーを利用
- ・物流: フェリー利用者は3割、航路が約6割
- ・人流: フェリー利用者は2割、鉄道が約6割



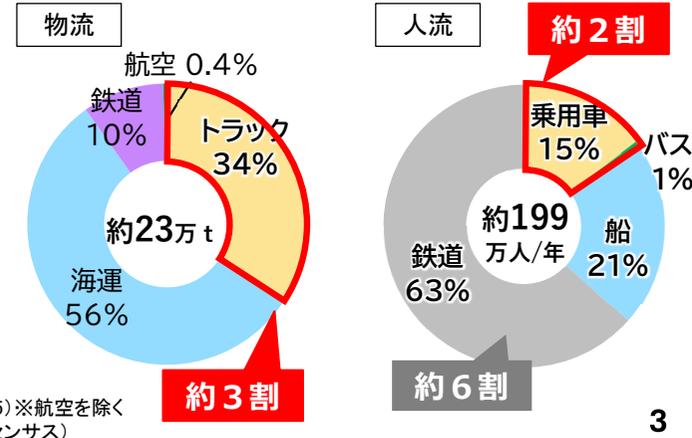
■九州・本州間を移動する交通手段



■四国・本州間を移動する交通手段



■北海道・本州間を移動する交通手段



資料: [人流]全国幹線旅客純流動調査(2015)※航空を除く [物流]全国貨物純流動調査(R3物流センサス)

(参考)九州地方の特徴(北海道、四国地方との比較)

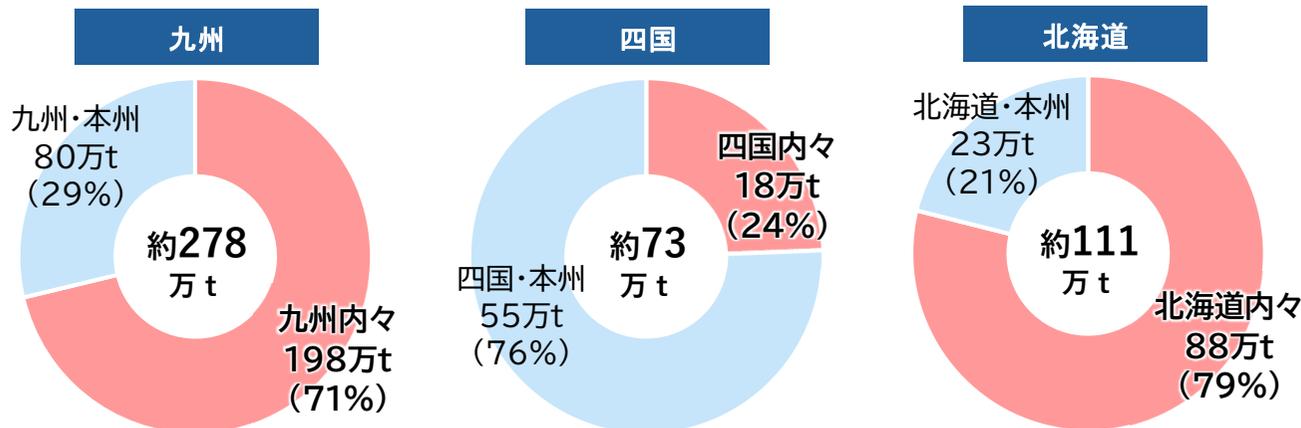
- 本州・九州間の貨物流動量は、約198万tと、北海道、四国地方と比較し、相対的に高い水準にある。
- また、輸出入額においても、九州地方は北海道・四国地方と比較し、突出した規模を示している。

■九州、四国、北海道の全国シェア

項目	単位	全国	九州7県		北海道		四国4県		年次
				割合(%)		割合(%)		割合(%)	
総面積	km2	377,975	42,178	11.2	83,422	22.1	18,802	5.0	2025
総人口	万人	12,380	1,302	10.5	509	4.1	365	2.9	2024
域内総生産GRP(名目)	億円	5,957,888	492,710	8.3	208,893	3.5	147,836	2.5	2022
集積回路(IC)生産額	億円	27,046	13,126	48.5	2,108	7.8	0	0.0	2024
自動車生産台数	百台	82,346	10,954	13.3	0	0.0	0	0.0	2024
林業産出額	億円	4,770	964	20.2	408	8.6	316	6.6	2024
農業産出額	億円	95,543	19,227	20.7	13,478	14.2	4,387	4.6	2023
海面漁業・養殖業産出額	億円	15,241	3,854	25.3	2,836	18.6	2,008	13.2	2023

資料：九州経済調査協会「九州経済2026」、
農林水産省「令和6年林業産出額」

■国内流通



資料：全国貨物純流動調査(R3物流センサス)

■輸出入

	輸出 (百億円)	輸入 (百億円)
	総額	総額
全国	10,709	11,272
九州	955	900
北海道	35	133
四国	109	224

資料：貿易統計

(参考)九州地方の特徴(北海道、四国地方との比較)

- 九州地方の年間延べ宿泊者数は約6,200万人泊と、北海道、四国地方と比較し高い水準にある。
- 訪日外国人の宿泊者数も最も多く、本州からの移動人数や、その伸び率についても九州地方が最も高い。

<観光需要>

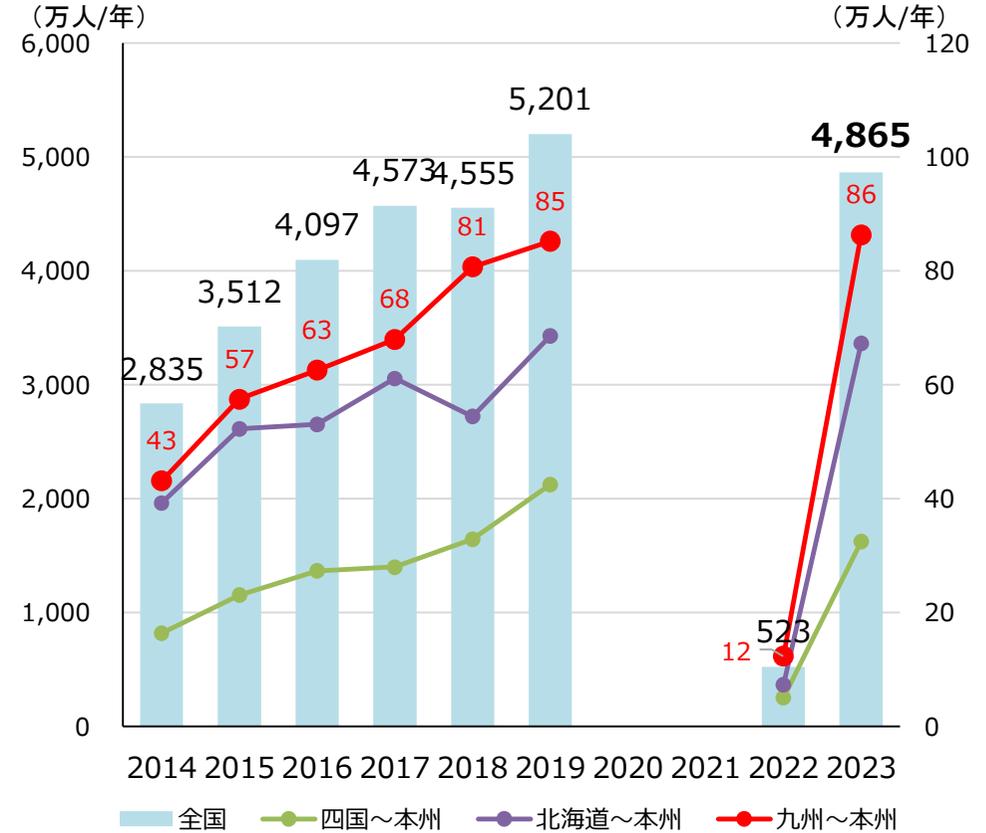
■年間延べ宿泊者数

(単位：万人泊)

	延べ宿泊者数	外国人延べ宿泊者数
全 国	65,906	16,446
九 州 7 県	6,233	1,213
福 岡 県	2,395	739
佐 賀 県	234	23
長 崎 県	764	64
熊 本 県	808	147
大 分 県	833	157
宮 崎 県	361	21
鹿 児 島 県	838	62
北 海 道	4,463	1,031
四 国 4 県	1,458	166
徳 島 県	254	17
香 川 県	475	91
愛 媛 県	437	45
高 知 県	292	13

観光庁「宿泊旅行統計調査」

■訪日外国人旅行者の本州からの移動人数



■訪日外国人の流動(2023)

九州-本州		
ペア	移動量	
九州 → 本州	43.3	万人/年
本州 → 九州	43.0	万人/年
合 計	86.3	

四国-本州		
ペア	移動量	
四国 → 本州	16.5	万人/年
本州 → 四国	16.0	万人/年
合 計	32.5	

北海道-本州		
ペア	移動量	
北海道 → 本州	35.8	万人/年
本州 → 北海道	31.5	万人/年
合 計	67.3	

資料：国土交通省FF-Data(訪日外国人流動データ)

2050年、WISENET(ワイズネット)の実現

○道路局において「2050年、世界一、賢く・安全で・持続可能な基盤ネットワークシステム(WISENET※)」の実現のための政策展開により、新時代の課題解決と価値創造に貢献する取組を推進。

※ World-class Infrastructure with 3S(Smart, Safe, Sustainable) Empowered NETwork

重点課題： 国際競争力・国土安全保障・物流危機対応・低炭素化



■ WISENETの要点

○ シームレスネットワークの構築

サービスレベル達成型の道路行政に転換、シームレスなサービスを追求

○ 技術創造による多機能空間への進化

国土を巡る道路ネットワークをフル活用し、課題解決と価値創造に貢献

▶ 自動物流道路、自転車道、電力ハイウェイ等



スイスで検討中の地下物流システムのイメージ

出典：Cargo Sous Terrain社HP

経済成長・物流強化

- 国際競争力強化のため、三大都市圏環状道路、日本海側と太平洋側を結ぶ横断軸の強化など、強靱な物流ネットワークを構築
- 物流拠点、貨物鉄道駅・空港・港湾周辺のネットワークの充実や中継輸送拠点の整備等、物流支援の取組を展開

地域安全保障のエッセンシャルネットワーク

- 地方部における生活圏人口の維持や大規模災害リスクへの対応に不可欠な高規格道路を「地域安全保障のエッセンシャルネットワーク」と位置づけ、早期に形成
- これまでの地域・ブロックの概念を超えた圏域の形成を支援



三陸沿岸道路（岩手県山田町）

交通モード間の連携強化

- カーボンニュートラル、省人化の観点から、海上輸送、鉄道輸送等との連携を強化し、最適なモーダルコンビネーションを実現
- バスタの整備・マネジメントを通じて、人中心の空間づくりや多様なモビリティとの連携などMaaSや自動運転にも対応した未来空間を創出



バスタの整備イメージ（品川駅交通ターミナル）

観光立国の推進

- ゲートウェイとなる空港・港湾や観光地のアクセスを強化し、観光資源の魅力を向上
- オーバーツーリズムが課題となっている観光地をデータで分析し、ハード・ソフト両面において地域と連携した渋滞対策等の取組を推進



シェアサイクル導入の促進



高速道路料金割引の見直し

自動運転社会の実現

- 高速道路の電腦化を図り、道路と車両が高度に協調することによって、自動運転の早期実現・社会実装を目指す

〔2024年度新東名高速道路、2025年度以降東北自動車道等で取組開始、将来的に全国へ展開〕



車両と道路が協調した自動運転

低炭素で持続可能な道路の実現

- 道路ネットワーク整備や渋滞対策等により、旅行速度を向上させ、道路交通を適正化
- 公共交通や自転車の利用促進、物流効率化等により低炭素な人流・物流へ転換
- 道路空間における発電・送電・給電等の取組を拡大し、次世代自動車の普及と走行環境の向上に貢献
- 道路インフラの長寿命化等、道路のライフサイクル全体で排出されるCO₂の削減を推進

多様な価値を支える多機能空間

OWISENETにおいて、自動車の道路から、多様な価値を支える多機能空間への進化を目指す取組を推進

自動物流道路(オートフロー・ロード Autoflow Road)

道路空間を活用した人手によらない新たな物流システムとして、自動物流道路(オートフロー・ロード)の実現を目指します。

物流危機への対応、低炭素化推進のため、諸外国の例も参考に、新たな技術によるクリーンな物流システムの実現に向けた検討を開始します。

スイス CST



出典: Cargo Sous Terrain社HP

イギリス MAGWAY



出典: Magway社提供資料

高速自転車道

低炭素な社会の実現も見据え、自転車専用道路の整備を推進します。

ノルウェー (E39国道)

高速道路と並行して
規格の高い自転車道を
国が整備

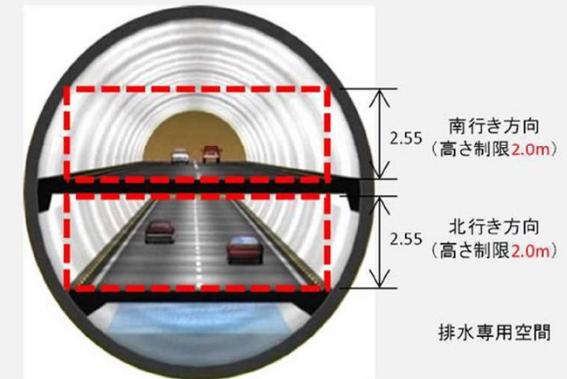


治水機能

頻発する集中豪雨に対処するため治水機能への道路ネットワーク活用を推進します。

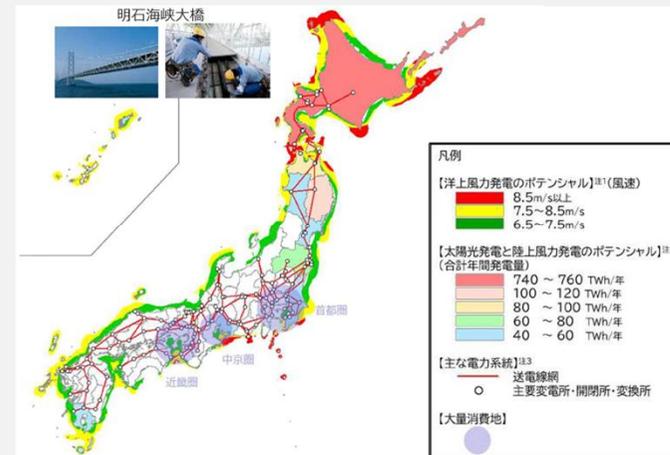
マレーシア SMART

高速道路と放水路
の共用トンネルとして
導入(2007)



電力ハイウェイ

再生可能エネルギー等の広域送電需要を踏まえ、広域送電等への道路ネットワーク活用を推進します。



【注1】REPOS(リーボス(再生可能エネルギー情報提供システム)(環境省))における「洋上風力導入ポテンシャル」データ(令和5年5月時点)より作成
【注2】「国土の有効利用を考慮した太陽光発電のポテンシャルと分布」(国立研究開発法人科学技術振興機構 産業界社会戦略センター、令和4年3月)より作成
【注3】「全国を連携する送電線(全国基幹送電系統)」(電気事業連合会HP)をもとに各電力会社公表資料等より作成

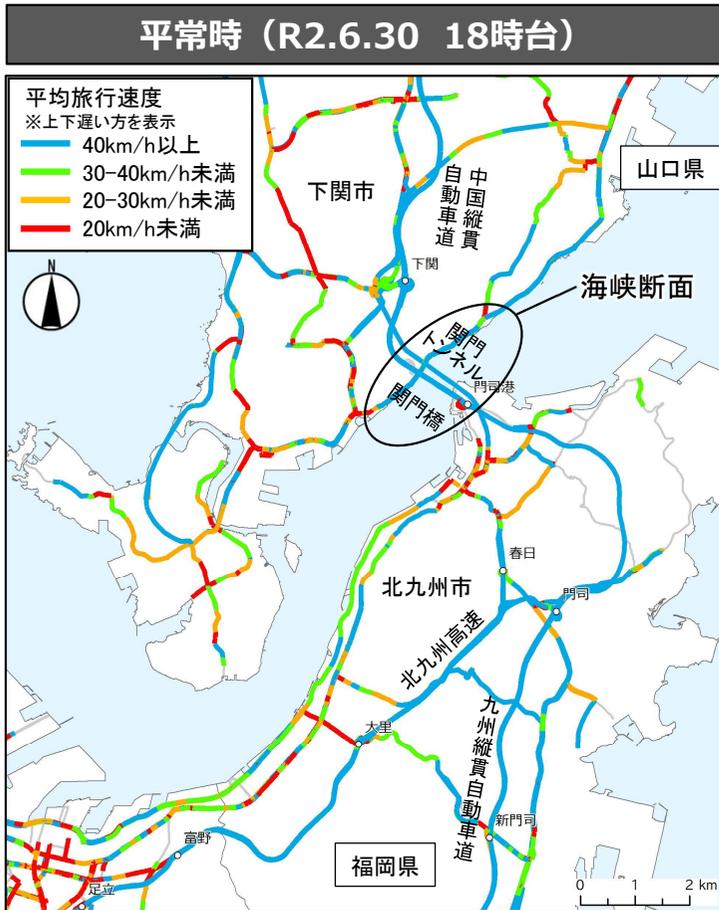
出典: 関西電力送配電HP(明石海峡大橋に添架されている電力ケーブル)

出典: WISENET2050・政策集

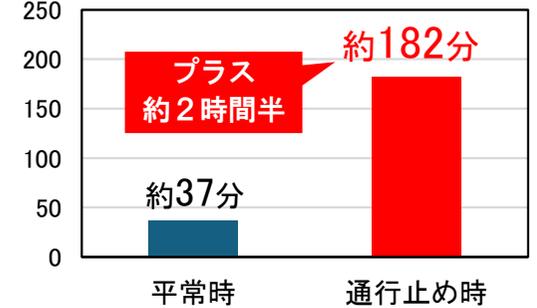
本州・九州間の道路ネットワークの課題(令和2年7月豪雨による通行止め時の影響)

- 令和2年7月豪雨に伴い、関門橋が16時間通行止め。(7月7日(火)14:00～翌日7月8日(水)6:00)
- 通行止めにより、関門トンネルや周辺道路へ交通が集中し、移動時間が約2時間半増加するなどの状況が生じ、あわせて海峡断面の交通量が平常時と比較し約4割減少するなど、物流活動や通勤・通学などへ影響を与えた。

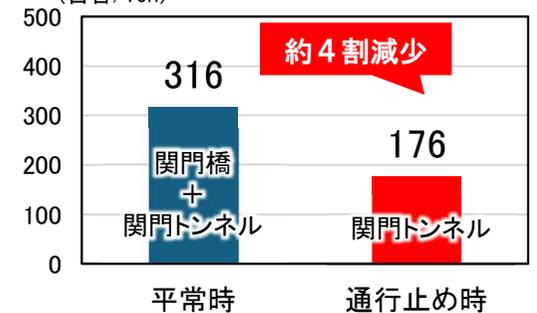
■令和2年7月豪雨による関門橋通行止め時の渋滞状況



■移動時間(小倉駅～下関駅)の変化(分)



■平常時と関門橋通行止め時の海峡断面交通量の比較(百台/16h) ※通行止め時間の16時間で比較



■国道2号(下関市一の宮住吉)の渋滞状況



下関市内 営業担当者

夕方下関市内から門司へ、資材を納品に向かったところ、日頃20分で着くところ3時間を要しました。

下関市民

山口市から下関市に帰る途中、小月IC(中国道)を過ぎて通行止めに遭遇し、翌朝まで車の中で飲まず食わずの12時間、大変苦しい状況でした。

資料:[速度図][移動時間] ETC2.0データ
 平常時: R2.6.30(火)18時台
 通行止め時: R2.7.7(火)18時台

資料:[交通量]NEXCO(トラカンデータによる速報値)
 平常時: R2.6.30(火)14:00~7.1(水)6:00
 通行止め時: R2.7.7(火)14:00~7.8(水)6:00

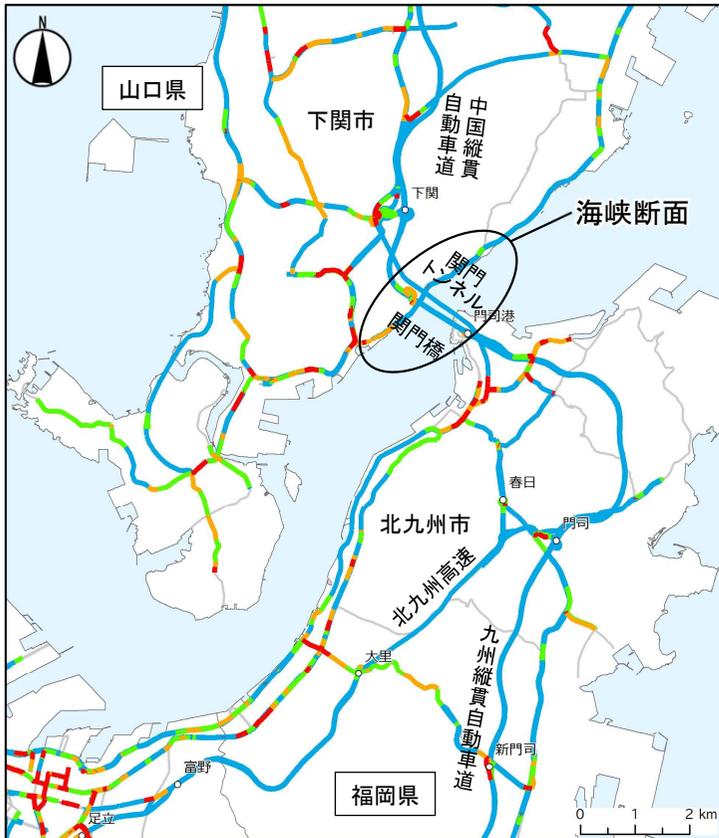
資料:地域住民ヒアリング結果(R2)
 ※下関地域の住民に対して直接聞き取り

○令和4年9月の台風14号に伴い、関門橋が34時間15分通行止め。
 (9月18日(日)19:00~9月20日(火)5:15)

○通行止めにより、関門トンネルや周辺道路へ交通が集中し、移動時間が約40分増加するなどの状況が生じ、あわせて海峡断面の交通量が平常時と比較し約7割減少するなど、物流活動や連休中の交通などへ影響を与えた。

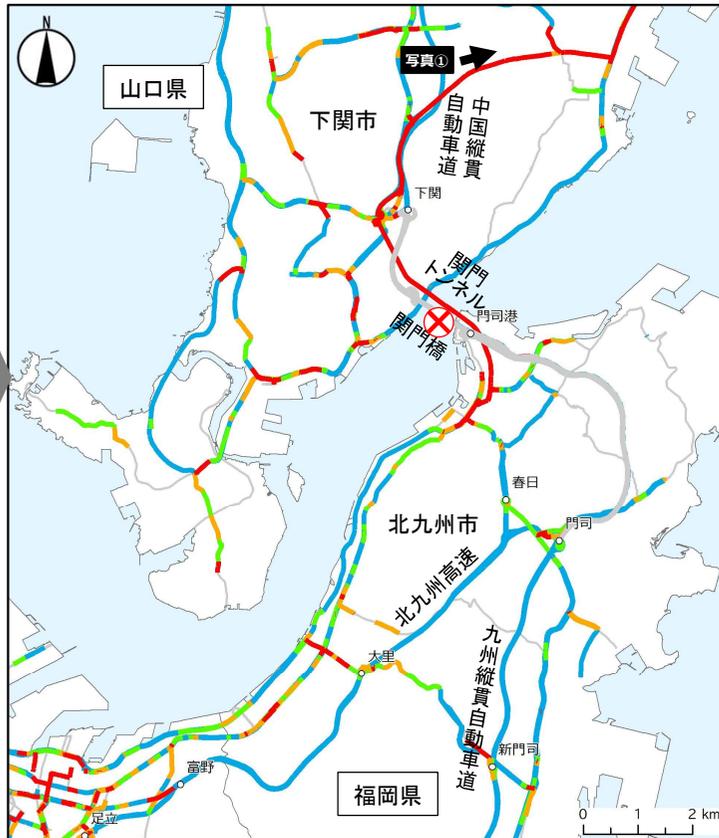
■令和4年9月台風14号による関門橋通行止め時の渋滞状況

平常時 (R4.9.13 2時台)



平均旅行速度
 ※上下違い方を表示
 40km/h以上
 30-40km/h未満
 20-30km/h未満
 20km/h未満

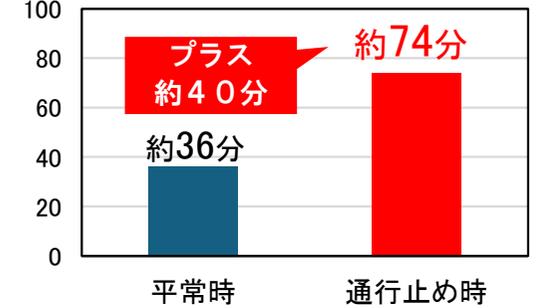
関門橋通行止め時 (R4.9.20 2時台)



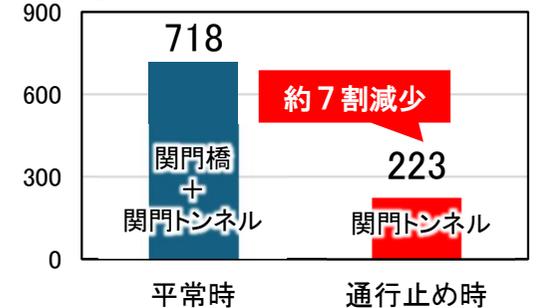
資料:[速度図][移動時間] ETC2.0データ
 平常時: R4.9.13(火)2時台
 通行止め時: R4.9.20(火)2時台

資料:[交通量] NEXCO(トラカンデータによる速報値)
 平常時: R4.9.10(土)19:00~9.12(月)5:00
 通行止め時: R4.9.18(日)19:00~9.20(火)5:00

■移動時間(小倉駅~下関駅)の変化(分)



■平常時と関門橋通行止め時の海峡断面交通量の比較(百台/34h) ※通行止め時間の34時間で比較



■国道2号(下関市勝谷)の渋滞状況

